

編 集 規 定

1. つくば国際大学研究紀要（以下「研究紀要」という）は、本学における研究活動の成果を広く学外に紹介することを目的として刊行する。
2. 研究紀要に掲載される論文は、未発表の研究論文を原則とする。
3. 研究紀要は、年一卷として刊行する。
4. 研究紀要の編集は、研究紀要委員会の責任のもとにおこなわれる。
5. 研究紀要への執筆投稿者は、原則として本学に所属する教員並びに非常勤教員とする。
なお、学外の研究協力者を共同執筆者とすることもできる。
6. 筆頭執筆者は、本学に所属する教員とする。
7. 執筆投稿された論文は、研究紀要委員会より依頼された査読者によって審査され、研究紀要委員会において掲載の可否が決定される。
8. 掲載論文の執筆者に対しては抜刷50部を贈呈する。
なお、50部を超える抜粋については、執筆者負担とする。
9. 掲載論文の著作権のうち、複製権及び公衆送信権行使を本学に委託するものとする。

執 筆 要 項

1. 論文の長さは、原則として400字×60枚以内とする（図表、文献等を含む）。
2. すべての投稿論文には、英文アブストラクト（ダブルスペースでタイプしたもので、英文の長さは100～175語）と日本語要約（論文の最初に600字以内）及び5語以内のキーワード（英語及び日本語）をつける。
3. 投稿論文は、原則としてA4版縦置き、横書きとし、3部（原本1部、コピー2部）提出する。
ワープロ原稿の場合は、1頁の字数は1200字（40字×30行）とし、テキストファイル形式で保存したフロッピーもつける。
4. 論文の第1頁目に表題、著者名、所属、及びそれらの英訳を記す。
5. 文献は論文の最後に、著者名のアルファベット順に一括してあげる。記載形式は、原則として、雑誌の場合、著者名、発行年度（西暦）、論文名、誌名、巻、号、記載頁の順、単行本の場合、著者名、発行年度（西暦）、書名、出版社名、記載頁の順とする。
(例: Novik, L. 1988 Analogical transfer, problem similarity, and expertise. *Journal of Experimental Psychology*, 14, 510-520.)
6. 注、謝辞等は論文の末尾に記載する。